

第2章 受講環境の調査

第2章 受講環境の調査

第1節 現状の情報通信機器及びインターネットの普及状況について

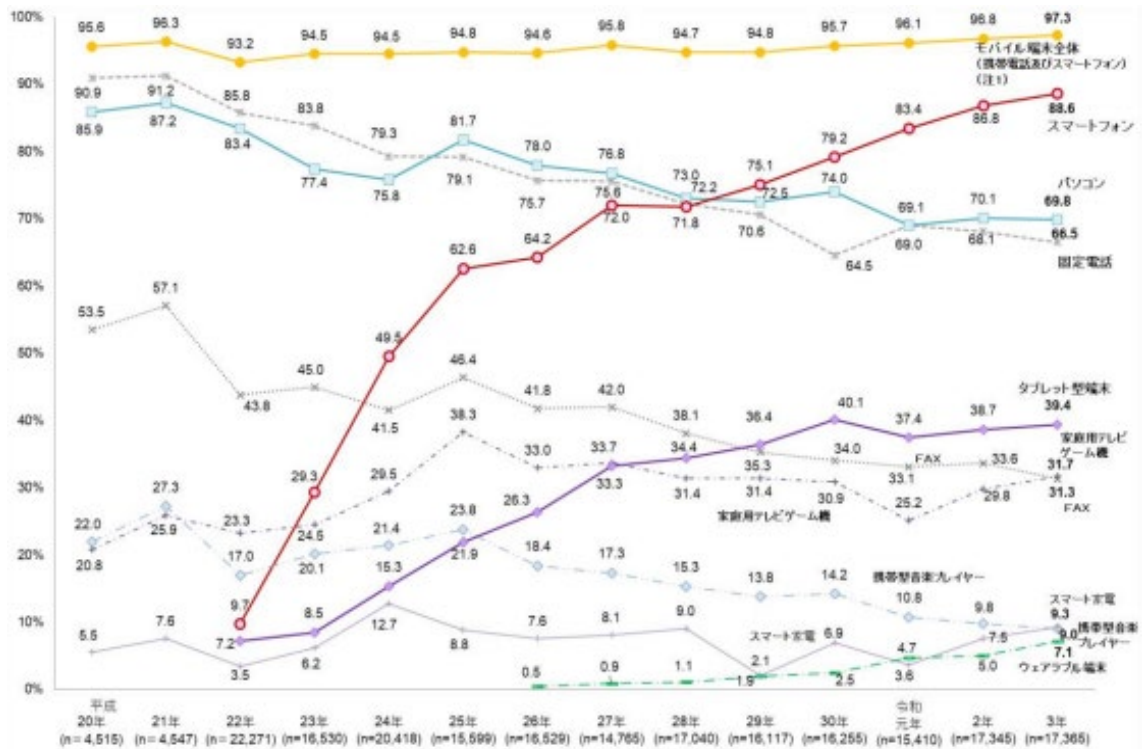
オンライン訓練を実施する場合に必要なパソコン等情報通信機器やインターネットの個人の普及状況を確認する。

1-1 インターネット等の普及状況

(1) 情報通信機器の保有状況(世帯)

世帯ごとの情報通信機器の保有状況では、平成29年度以降はスマートフォン(88.6%)がパソコン(69.8%)を上回り、以降継続して伸びている。(図表2-1)

図表2-1 情報通信機器の保有状況の推移(世帯)



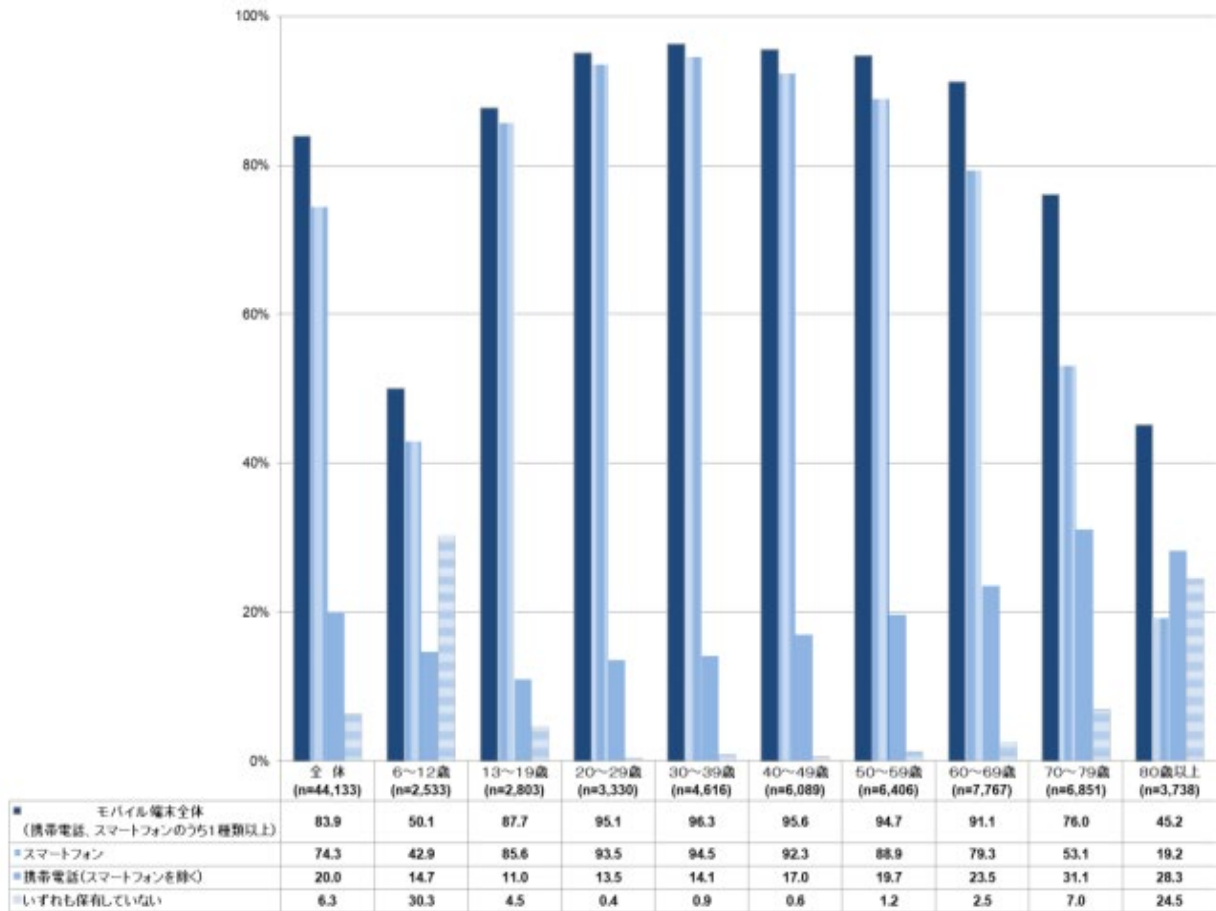
(注1)「モバイル端末全体」には、平成21年から平成24年までは携帯情報端末(PDA)、平成22年以降はスマートフォン、令和2年まではPHSを含む。
 (注2)経年比較のため、この図表は無回答を含む形で集計。

(出典：総務省 令和3年通信利用動向調査の結果(概要) 令和4年5月27日公表)

(2) モバイル端末の保有状況(個人)

個人のモバイル端末の保有状況では、スマートフォン保有者の割合は全体で74.3%、これを年齢別にみると13歳~59歳までは各世代において8割以上保有しており、特に20歳~49歳までの各世代においては、9割%以上が保有している。(図表2-2)

図表 2-2 年齢階層別モバイル端末の保有状況(令和3年)



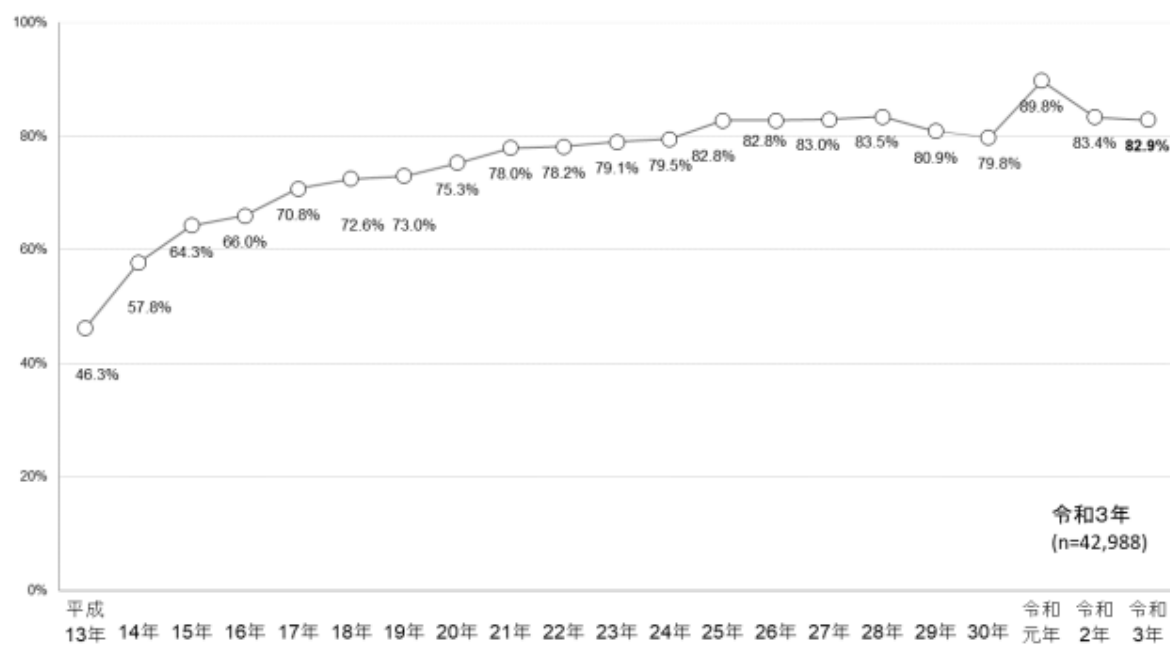
(注) 無回答を含む

(出典：総務省 令和3年通信利用動向調査の結果(概要) 令和4年5月27日公表)

(3) インターネットの利用状況(個人)

インターネット利用者の割合は、平成13年では46.3%だったものが令和3年度には82.9%となっている。(図表2-3)

図表2-3 インターネットの利用状況の推移



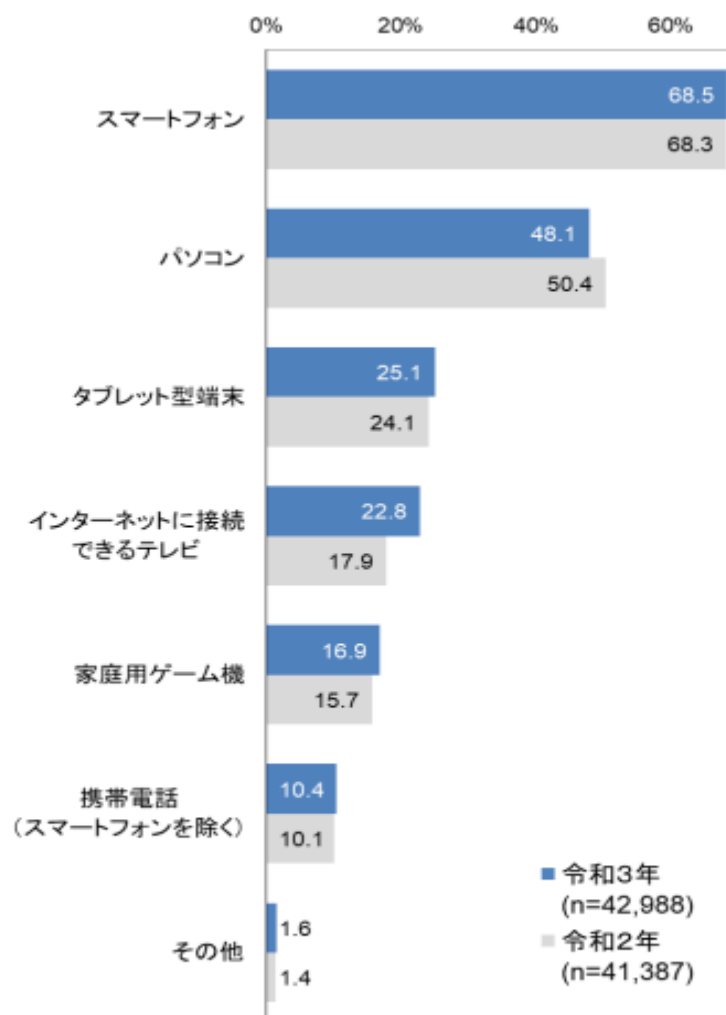
(注) 令和元年調査については調査票の設計が一部例年と異なっていたため、経年比較に際しては注意が必要。

(出典：総務省 令和3年通信利用動向調査の結果(概要) 令和4年5月27日公表)

(4) 端末別インターネットの利用状況(個人)

インターネットの利用状況を端末別にみると、スマートフォンが 68.5%とパソコンを上回っている。(図表 2-4)

図表 2-4 インターネットの端末別利用状況

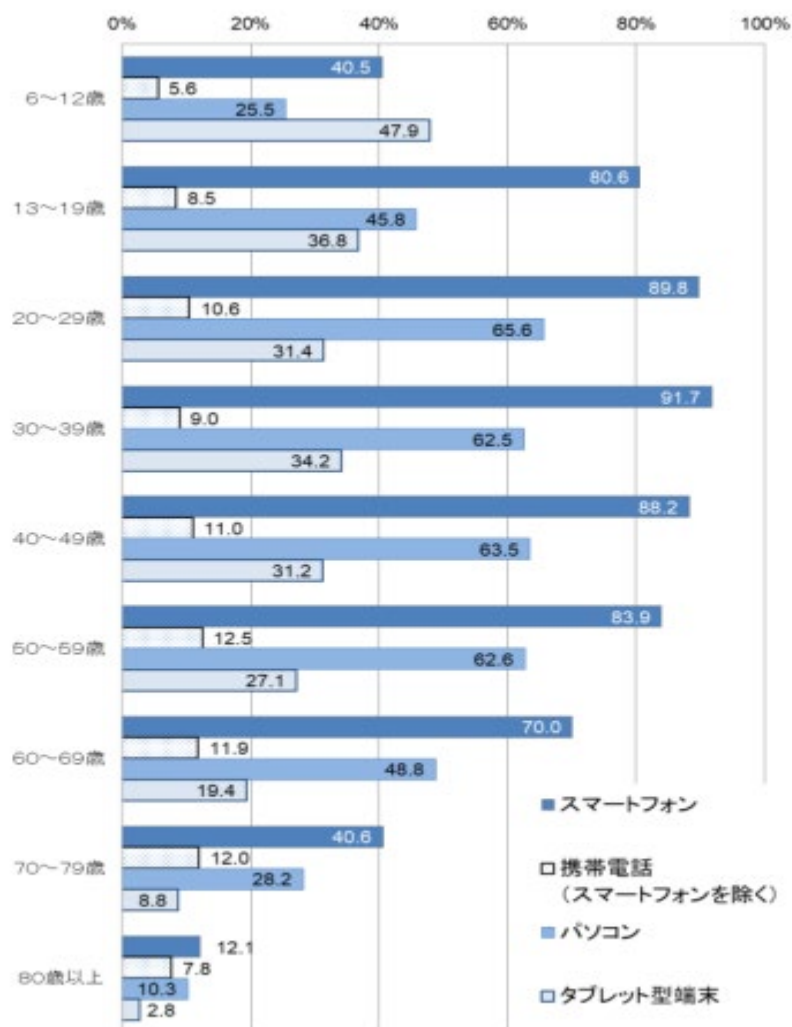


(注) 令和2年の「携帯電話(スマートフォンを除く)」はPHSを含む。

(出典：総務省 令和3年通信利用動向調査の結果(概要) 令和4年5月27日公表)

インターネットの利用状況を年代別にみると、パソコンの利用状況は20歳～59歳の各世代で6割を超えており、スマートフォンの利用状況は13歳～59歳の各世代で8割以上となっている。特に30歳～39歳では9割以上が利用している。(図表2-5)

図表2-5 年齢階層別インターネット端末の利用状況

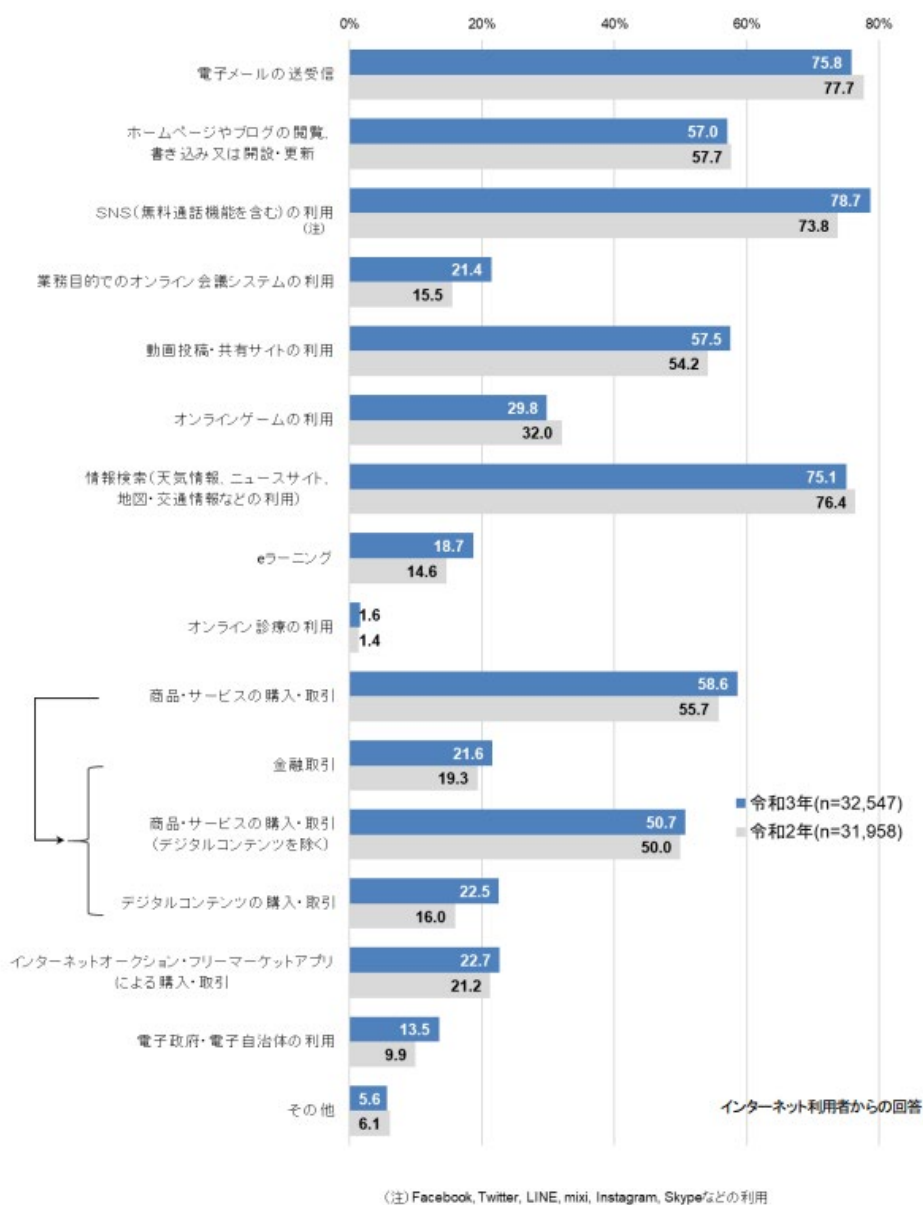


(注) 主な利用機器のみ記載。

(出典：総務省 令和3年通信利用動向調査の結果(概要) 令和4年5月27日公表)

インターネットの利用目的・用途では「SNSの利用」、「電子メールの送受信」、「情報検索」の順で多く、すべて7割以上となっている。中でも本調査に關係する「eラーニング」が18.7%と令和2年より4.1%伸びている。(図表2-6)

図表2-6 インターネットの利用目的・用途(複数回答)

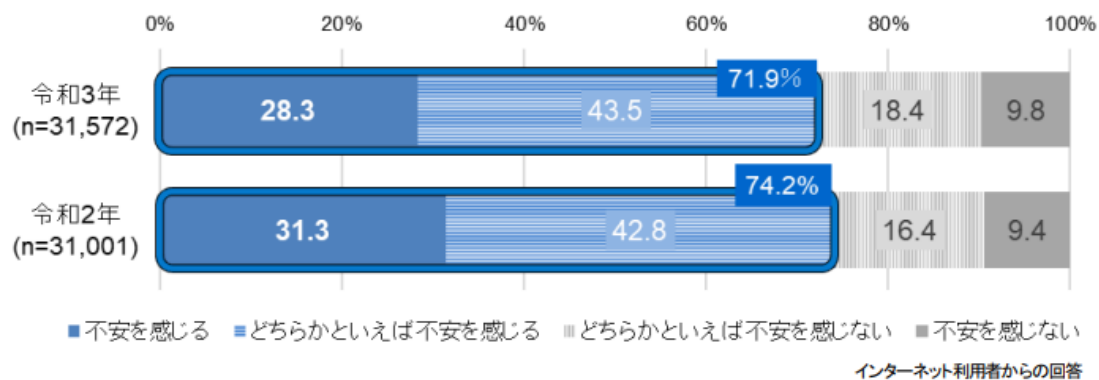


(出典：総務省 令和3年通信利用動向調査の結果(概要) 令和4年5月27日公表)

1-2 インターネット利用時の不安(個人)

インターネットを利用している個人で、何らかの「不安を感じている」または「どちらかといえば不安を感じる」と回答した者は7割以上となっている。(図表2-7)

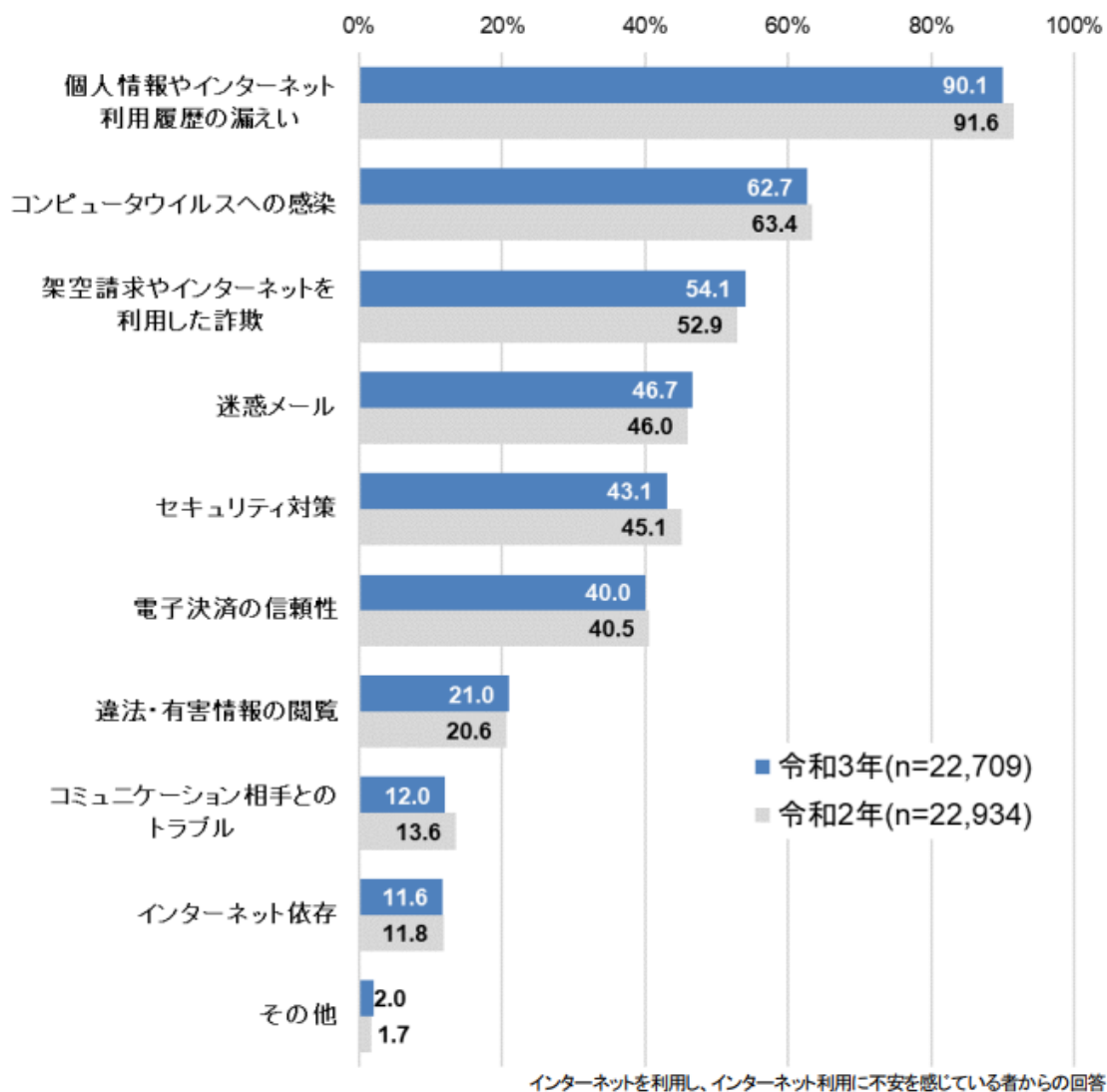
図表2-7 インターネット利用時の不安



(出典：総務省 令和3年通信利用動向調査の結果(概要) 令和4年5月27日公表)

不安と感じる内容では、「個人情報やインターネット利用履歴の漏えい」が90.1%と最も多く、次いで「コンピュータウイルスへの感染」(62.7%)、「架空請求書やインターネットを利用した詐欺」(54.1%)になっている。(図表2-8)

図表2-8 インターネット利用時に不安と感じる内容



(出典：総務省 令和3年通信利用動向調査の結果(概要) 令和4年5月27日公表)

第2節 インターネットを活用したアンケート調査結果

本調査は、職業訓練期間の全てをオンラインによる訓練とした場合のメリットやデメリットなどの意見を広く収集することで、今後のオンラインによる訓練の開発や運営に資することを目的として、全国の在職者と離職者の方で1年以内にIT分野へ転職や就職を希望している1,000人を対象に、インターネットによるアンケート調査を実施したものである。

2-1 調査概要

図表2-1 調査概要

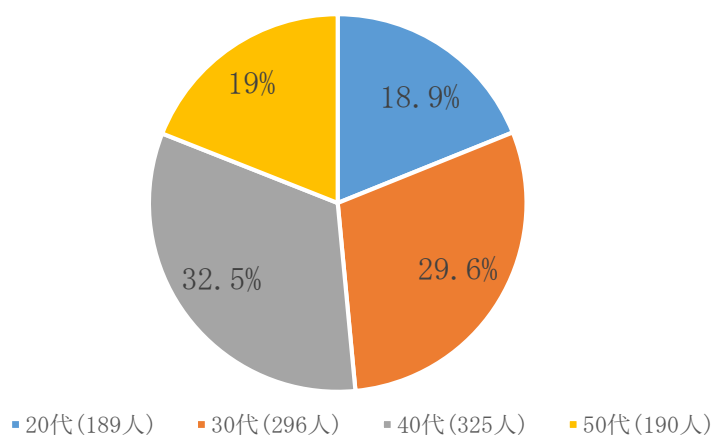
調査手法	インターネットを活用したアンケート調査
対象者条件	【対 象】 1年以内にIT業界の職種に就職・転職の意向のある者 【年 齢】 20代～50代 (学生は除く) 【地 域】 全国
回収数	1,000 サンプル
調査期間	2022年7月15日(金)～2022年7月20日(水)

2-2 調査結果

(1) 回答者の年代

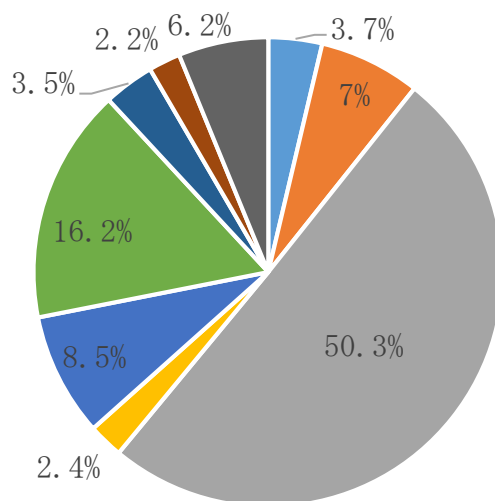
図表2-2は回答者の年代を示す。40代が32.5%、30代が29.6%、50代が19.0%、20代が18.9%の順になっている。

図表2-2 回答者の年代 (1,000人)



(2) 回答者の居住地

図表 2-3 回答者の居住地 (1,000 人)



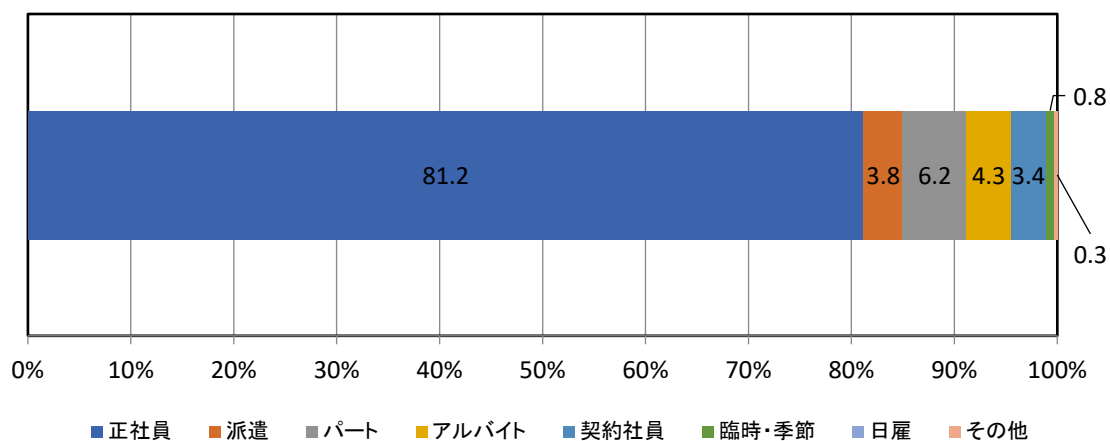
■北海道 ■東北 ■関東・甲信 ■北陸 ■東海 ■近畿 ■中国 ■四国 ■九州・沖縄

※北海道：37人、東北：70人、関東・甲信：503人、北陸：24人、東海85人、近畿：162人、中国：35人、四国：22人、九州・沖縄：62人(計1,000人)

(3) 希望する就業形態

図表 2-4 は、1年以内に就職・転職をする場合の就業形態を示している。81.2%の方が正社員を希望している。

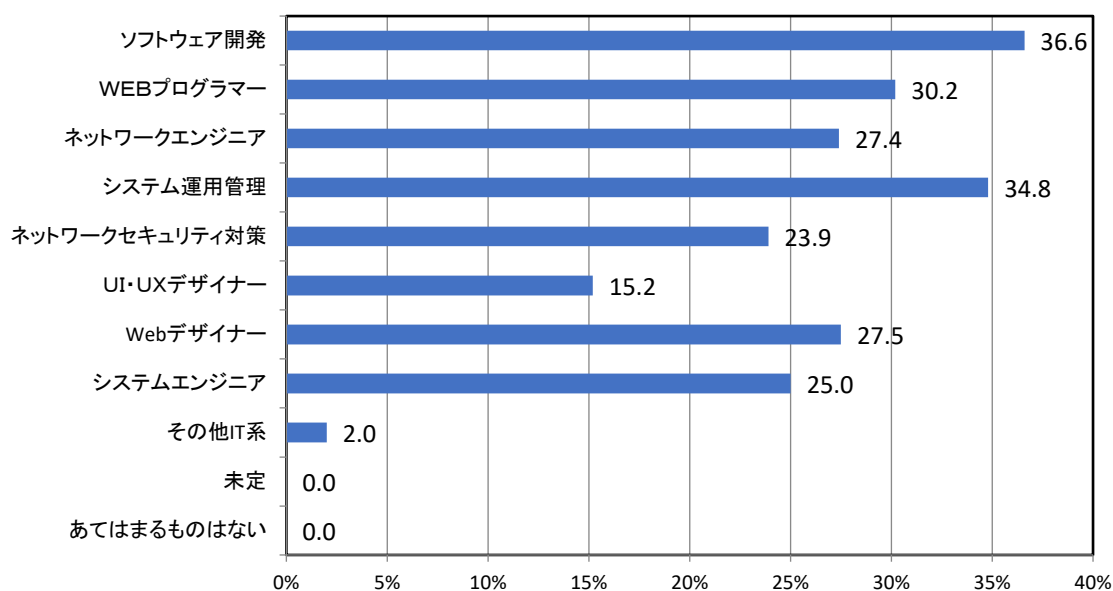
図表 2-4 1年以内に就職・転職を希望する就業形態 (1,000 人)



(4) IT 分野での希望職種

図表 2-5 は、IT 分野での希望する職種を示している(複数選択)。「ソフトウェア開発」が 36.6%、「システム運用管理」が 34.8%、「Web プログラマー」が 30.2%、「Web デザイナー」が 27.5%の順になっている。

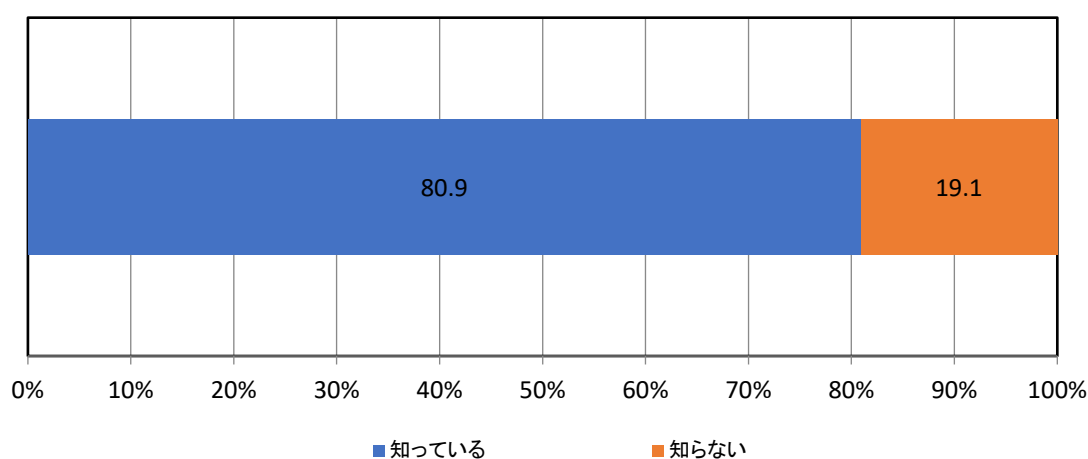
図表 2-5 IT 分野での希望職種 (複数選択)



(5) 無料職業訓練斡旋の認知

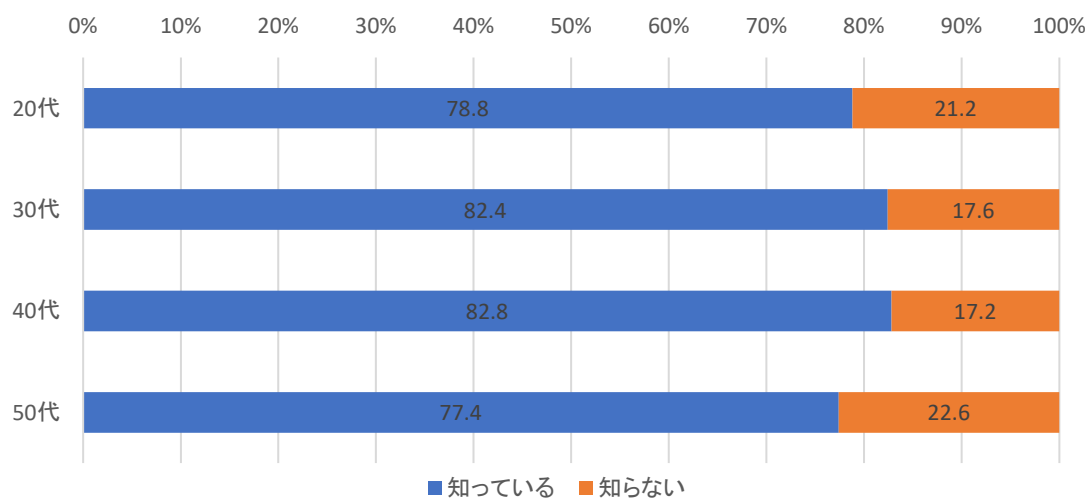
図表 2-6 は、公共職業安定所(以下「ハローワーク」という。)で無料の公共職業訓練を斡旋していることを知っているかを示しており、80.9%の方が知っている。

図表 2-6 ハローワークにおける公共職業訓練斡旋の認知 (1,000 人)



図表 2-7 は、図表 2-6 を年代別に示したものである。職業訓練の斡旋を知っている割合は、30代・40代が20代・50代より多く見られる。

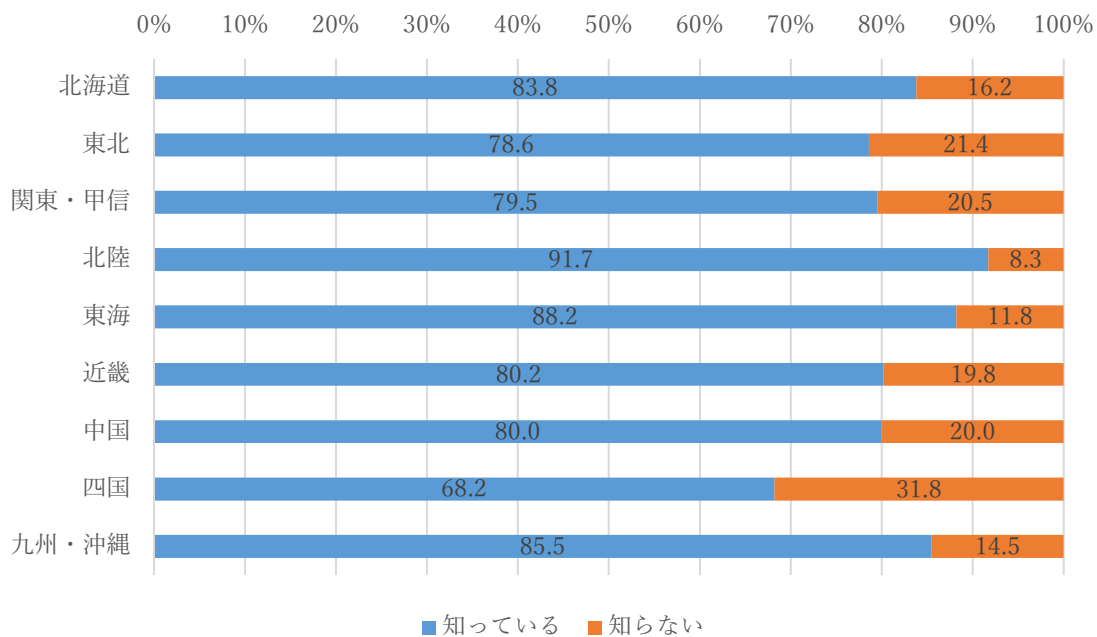
図表 2-7 年代別ハローワークにおける公共職業訓練斡旋の認知 (1,000人)



※20代(189人)、30代(296人)、40代(325人)、50代(190人)

図表 2-8 は、図表 2-6 を地域別に示したものである。

図表 2-8 地域別ハローワークにおける無料職業訓練斡旋の認知 (1,000人)

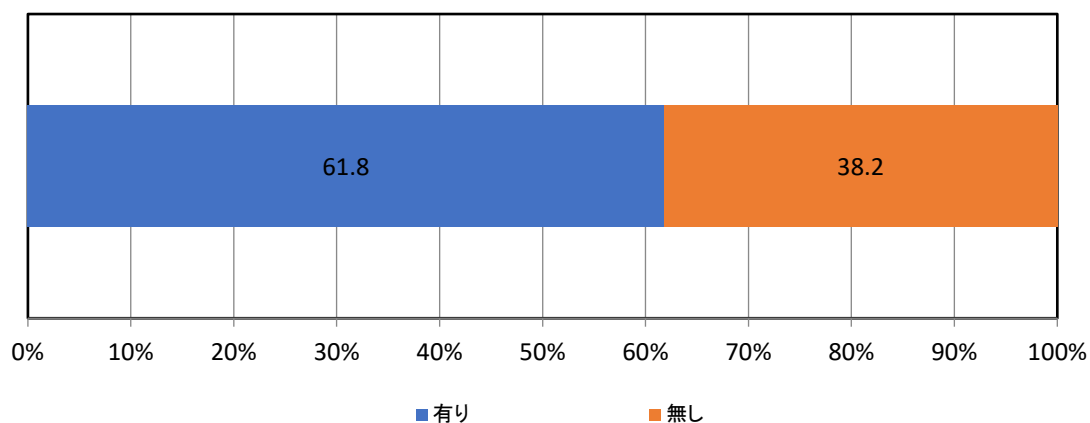


※北海道：37人、東北：70人、関東・甲信：503人、北陸：24人、東海85人、
近畿：162人、中国：35人、四国：22人、九州・沖縄：62人(計1,000人)

(6) 公共職業訓練の受講経験

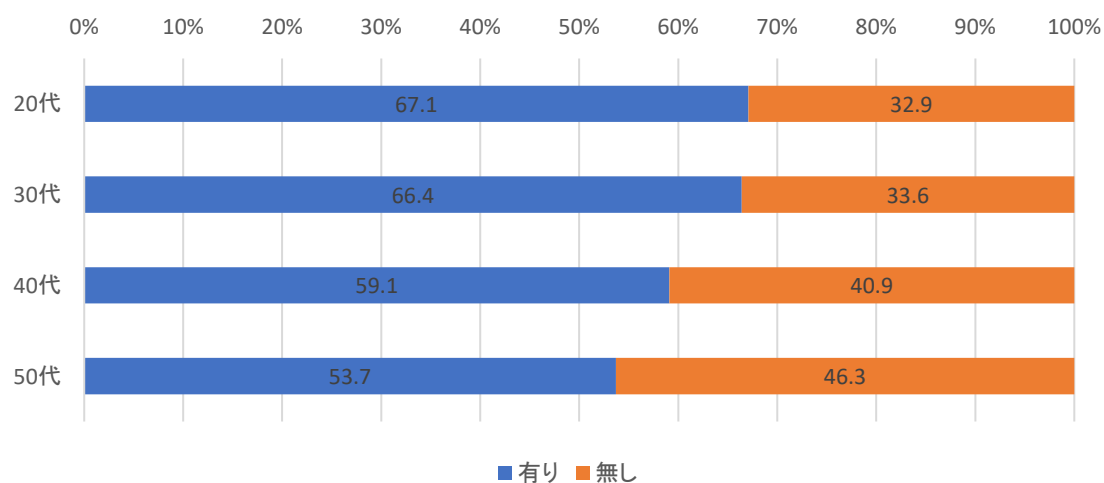
図表 2-9 は、公共職業訓練を受講した経験があるかを示しており、61.8%の方が受講を経験している。

図表2-9 公共職業訓練の受講経験 (809人)



図表2-10は、図表2-9を年代別に示したものである。公共職業訓練の受講経験の割合は、20代・30代が40代・50代より多く見られる。

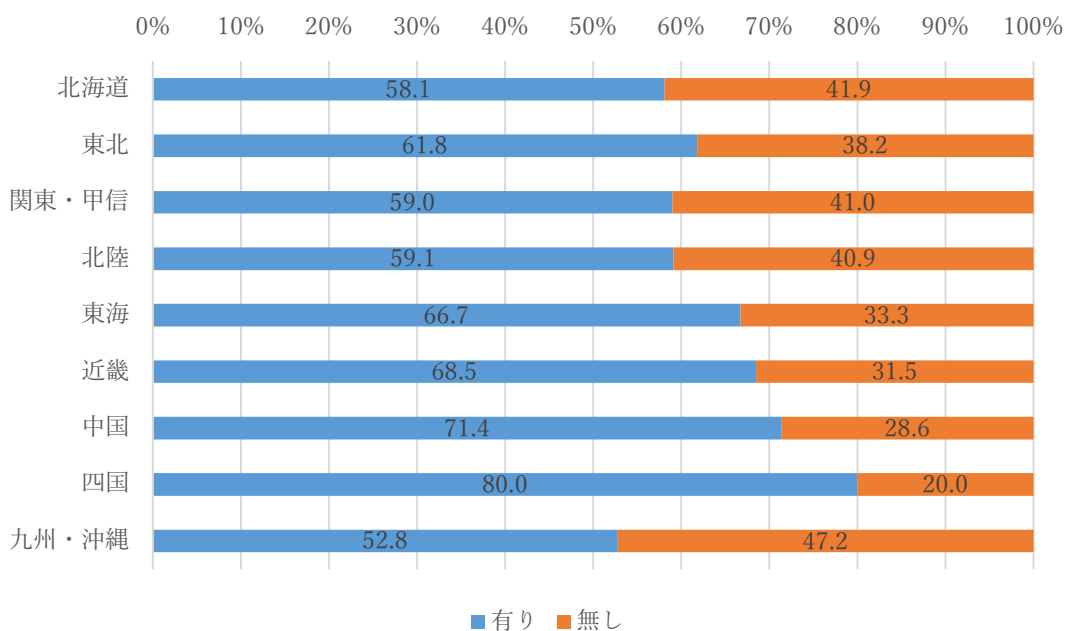
図表2-10 年代別公共職業訓練の受講経験 (809人)



※20代(149人)、30代(244人)、40代(269人)、50代(147人)

図表 2-11 は、図表 2-9 を地域別に示したものである。

図表 2-11 地域別公共職業訓練の受講経験 (809 人)

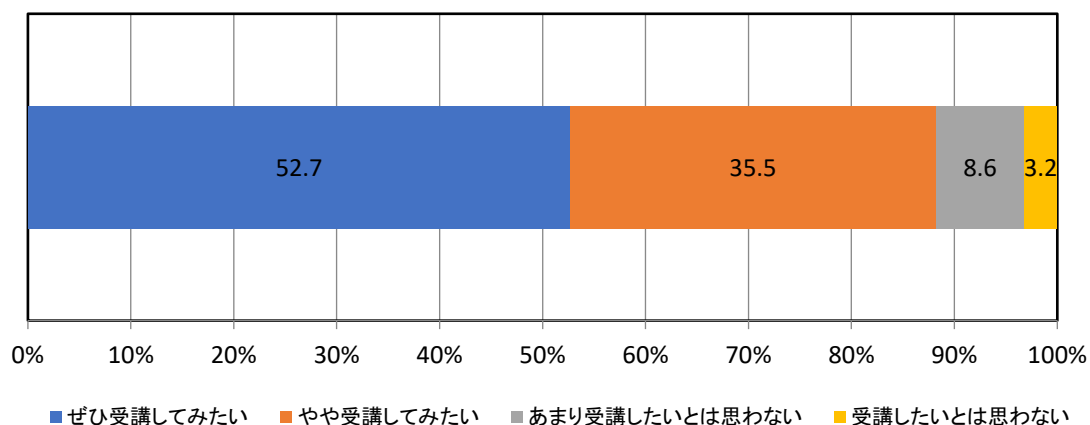


※北海道：31人、東北：55人、関東・甲信：400人、北陸：22人、東海75人、
近畿：130人、中国：28人、四国：15人、九州・沖縄：53人(計809人)

(7) 無料の公共職業訓練の受講希望

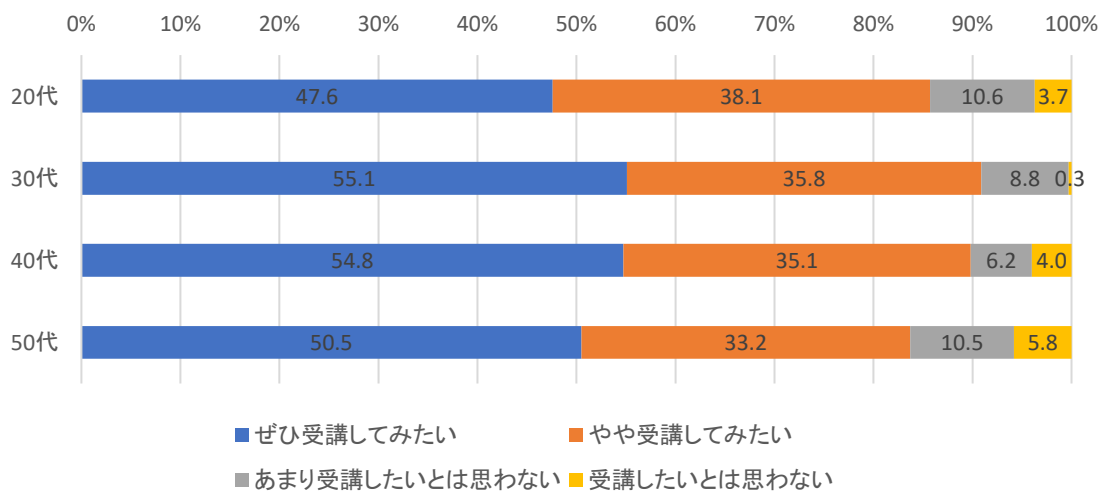
図表 2-12 は、無料の公共職業訓練の受講希望を示している。「ぜひ受講してみたい」、「やや受講してみたい」の合計で88.2%の方が受講を希望している。

図表 2-12 無料の公共職業訓練の受講希望 (1,000 人)



図表2-13は、図表2-12を年代別に示したものである。公共職業訓練の受講希望者の割合は、30代・40代が20代・50代より多く見られる。

図表2-13 年代別公共職業訓練の受講希望 (1,000人)

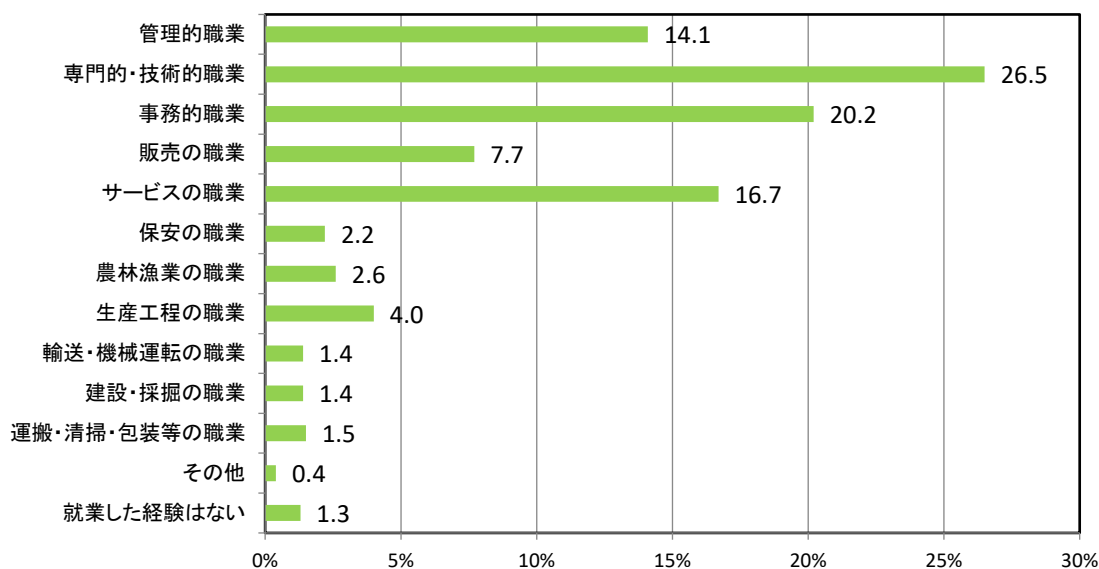


※20代(189人)、30代(296人)、40代(325人)、50代(190人)

(8)現時点での職業(離職した場合は直近)

図表2-14は、現時点での在職中の職業、または離職している場合は直近の職業を示している。「専門的・技術的職業」が26.5%、「事務的職業」が20.2%、「サービスの職業」が16.7%となっている。

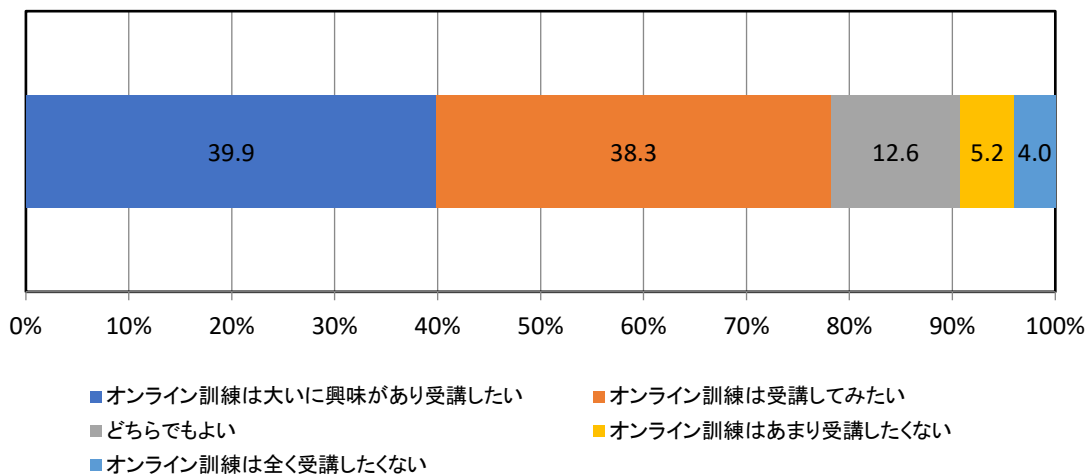
図表2-14 現時点での在職中の職業、または離職前の直近の職業 (1,000人)



(9) オンライン訓練の受講希望

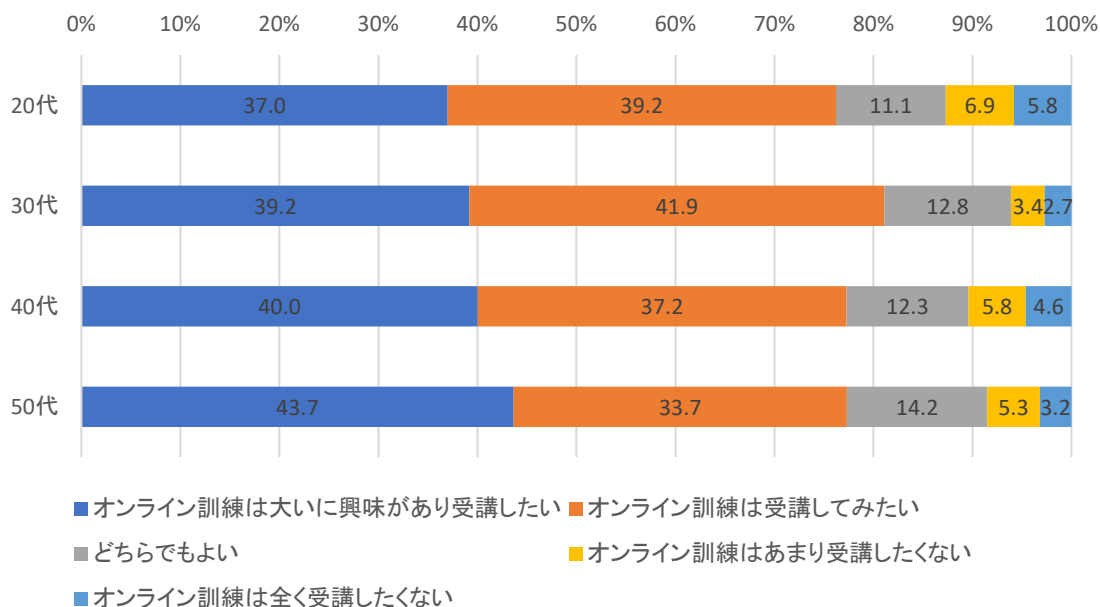
図表 2-15 はオンライン訓練の受講希望を示しており、78.2%の方が受講したいと回答している。

図表 2-15 オンライン訓練の受講希望 (1,000人)



図表 2-16 は、図表 2-15 を年代別に示したものである。オンライン訓練を受講したい割合は、30代が他の年代より多く見られる。

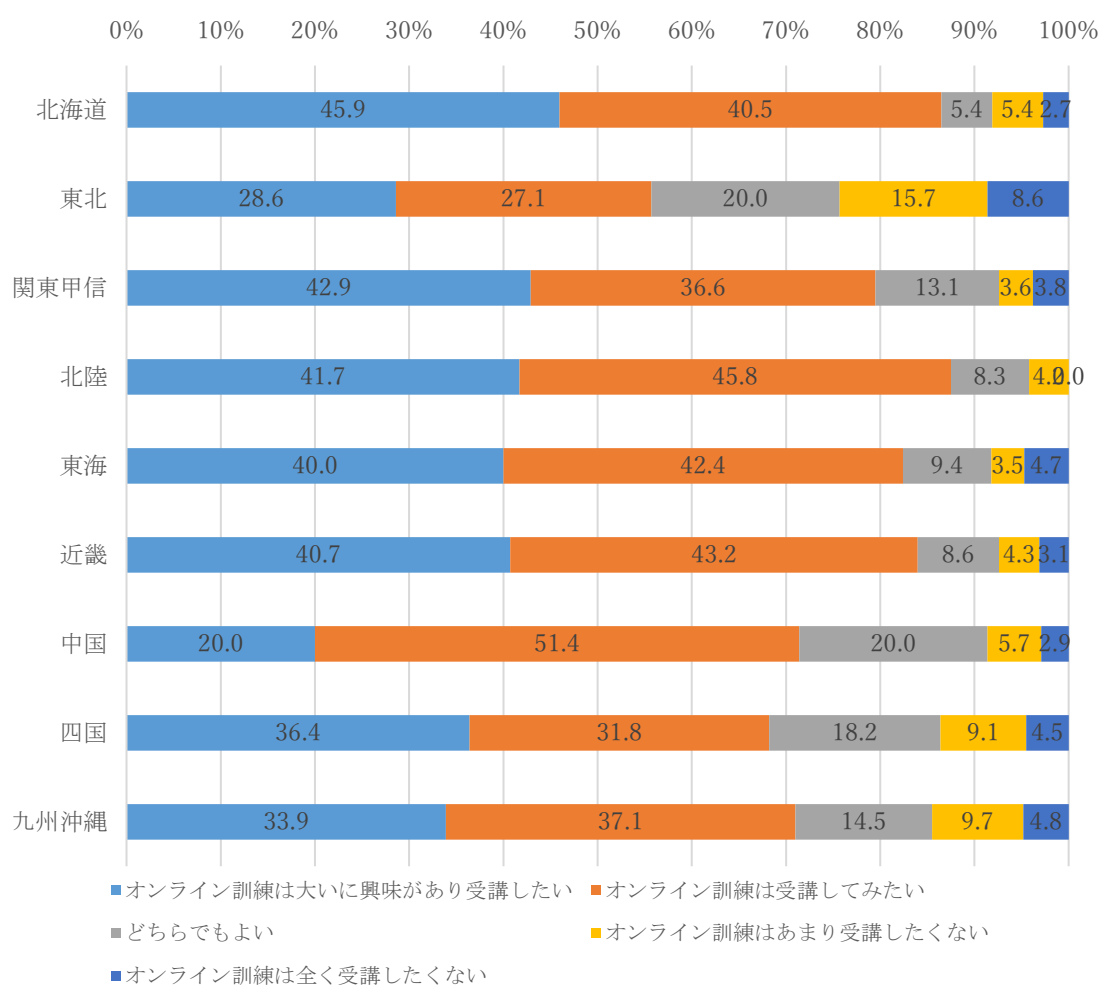
図表 2-16 年代別オンライン訓練の受講希望 (1,000人)



※20代(189人)、30代(296人)、40代(325人)、50代(190人)

図表2-17は、図表2-15を地域別に示したものである。

図表2-17 地域別オンライン訓練の受講希望 (1,000人)

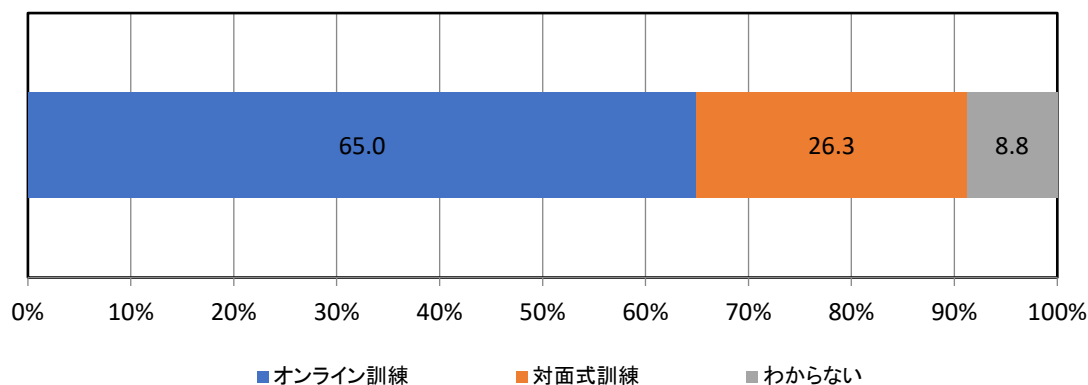


※北海道：37人、東北：70人、関東・甲信：503人、北陸：24人、東海85人、
近畿：162人、中国：35人、四国：22人、九州・沖縄：62人(計1,000人)

(10) 同じ訓練内容においてオンライン訓練と通所しての訓練（以下「対面式訓練」という。）ではどちらを希望するか

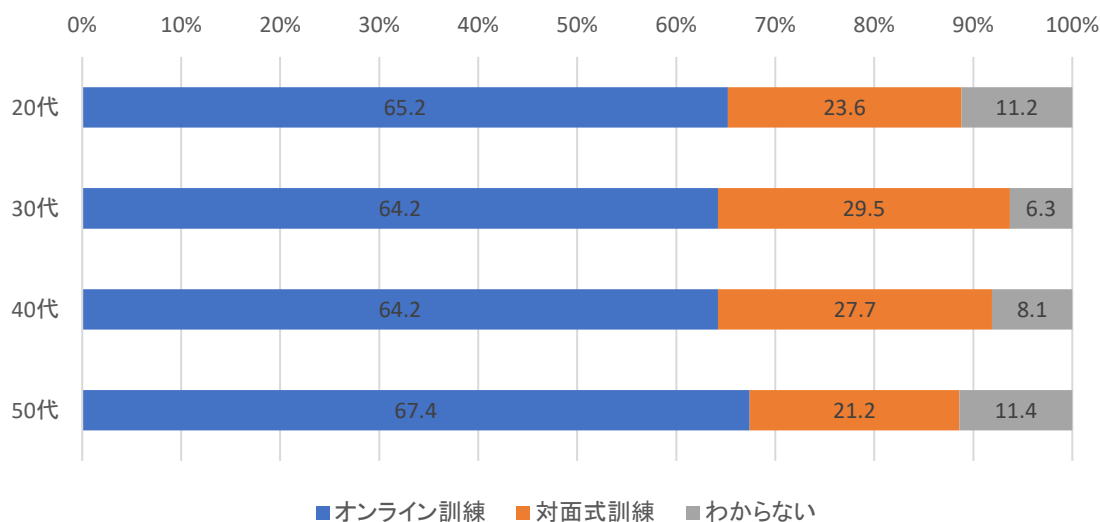
図表 2-18 は、同じ訓練内容において、オンライン訓練と対面式訓練のどちらの受講を希望するかを示している。オンライン訓練を希望する方が 65.0% と多い。

図表 2-18 オンライン訓練と対面式訓練ではどちらを希望（960 人）



図表 2-19 は、図表 2-18 を年代別に示したものである。オンライン訓練の受講希望はどの年代も割合的にはあまり変わらないが、対面式訓練の受講希望は 30 代が他の年代より割合的には多く見られる。

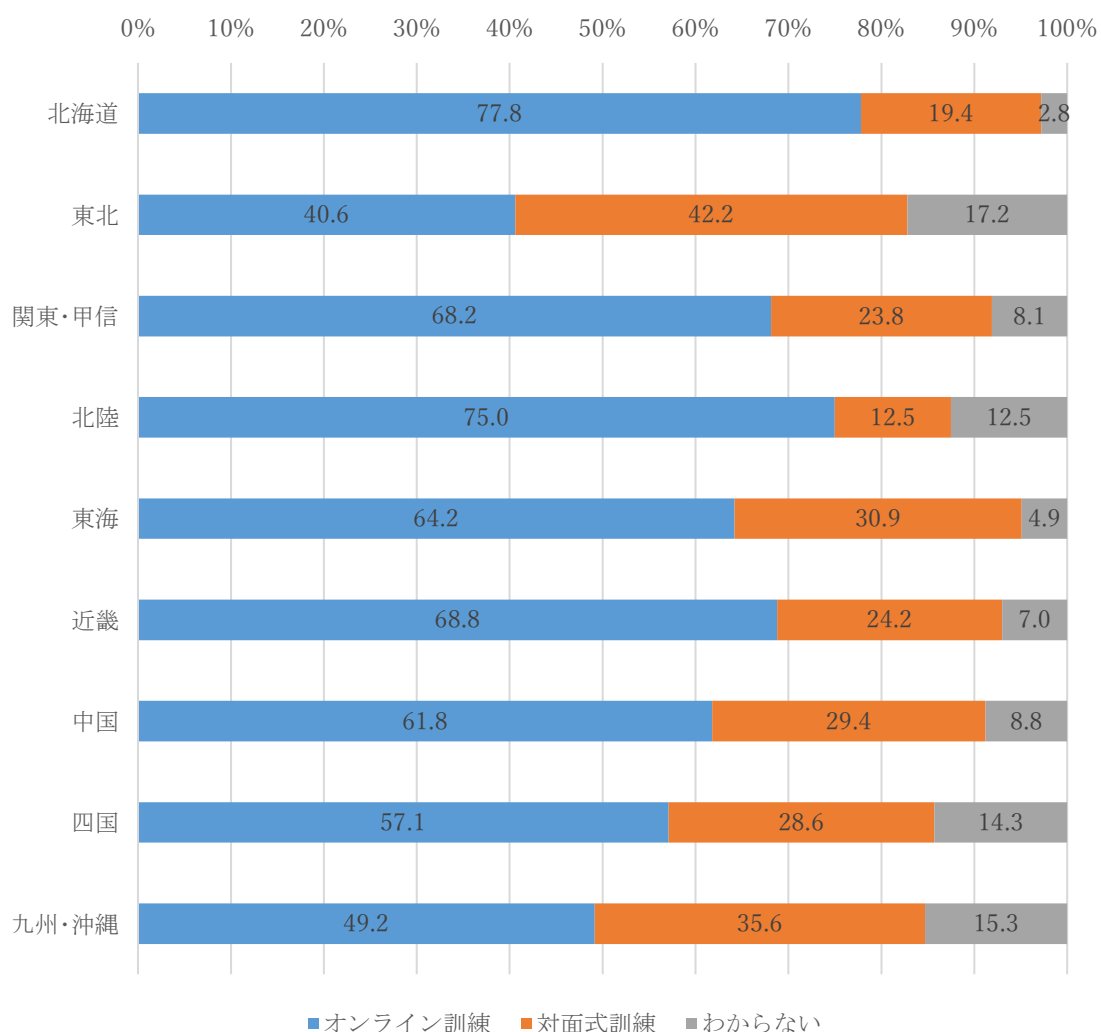
図表 2-19 年代別オンライン訓練と対面式訓練ではどちらを希望（960 人）



※20代(178人)、30代(288人)、40代(310人)、50代(184人)

図表2-20は、図表2-18を地域別に示したものである。

図表2-20 地域別オンライン訓練と対面式訓練ではどちらを希望 (960人)

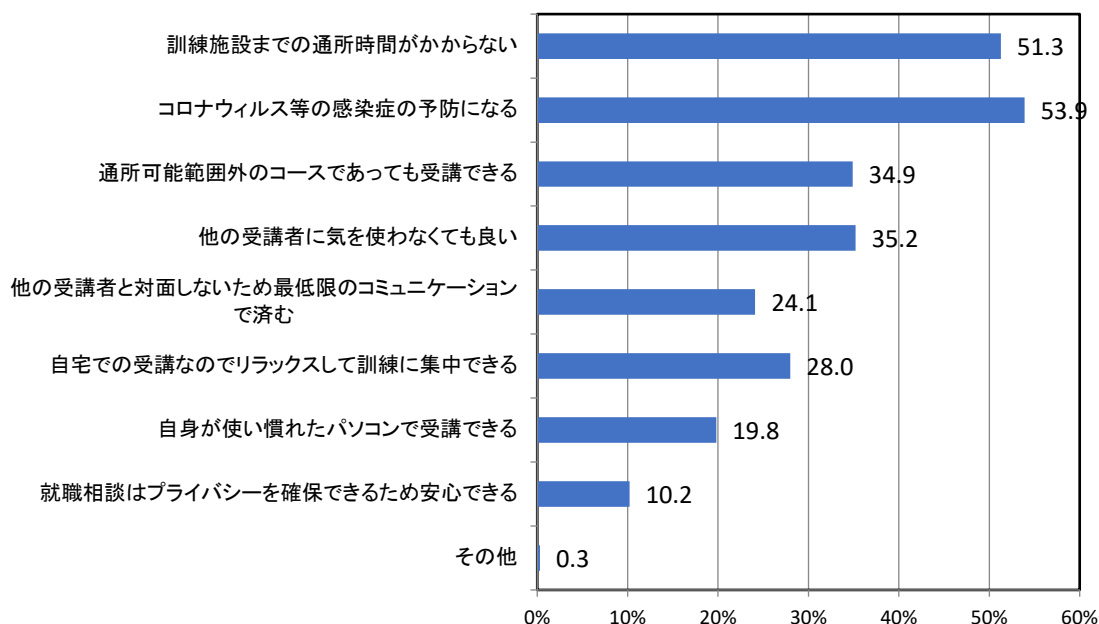


※北海道：36人、東北：64人、関東・甲信：484人、北陸：24人、東海81人、
近畿：157人、中国：34人、四国：21人、九州・沖縄：59人(計960人)

(11) オンライン訓練を対面式訓練と比較してのメリット

図表 2-21 では、オンライン訓練で受講する場合、対面式訓練と比較してメリットは何かを示している(複数選択)。「訓練施設までの通所時間がかからない」、「コロナウイルス等の感染症の予防」がそれぞれ 51.3%、53.9%と過半数を超えている。また、「他の受講者に気を使わなくても良い」が 35.2%、「通所可能範囲外のコースであっても受講できる」が 34.9%と続いている。

図表 2-21 オンライン訓練を対面式訓練と比較してのメリット (複数選択)

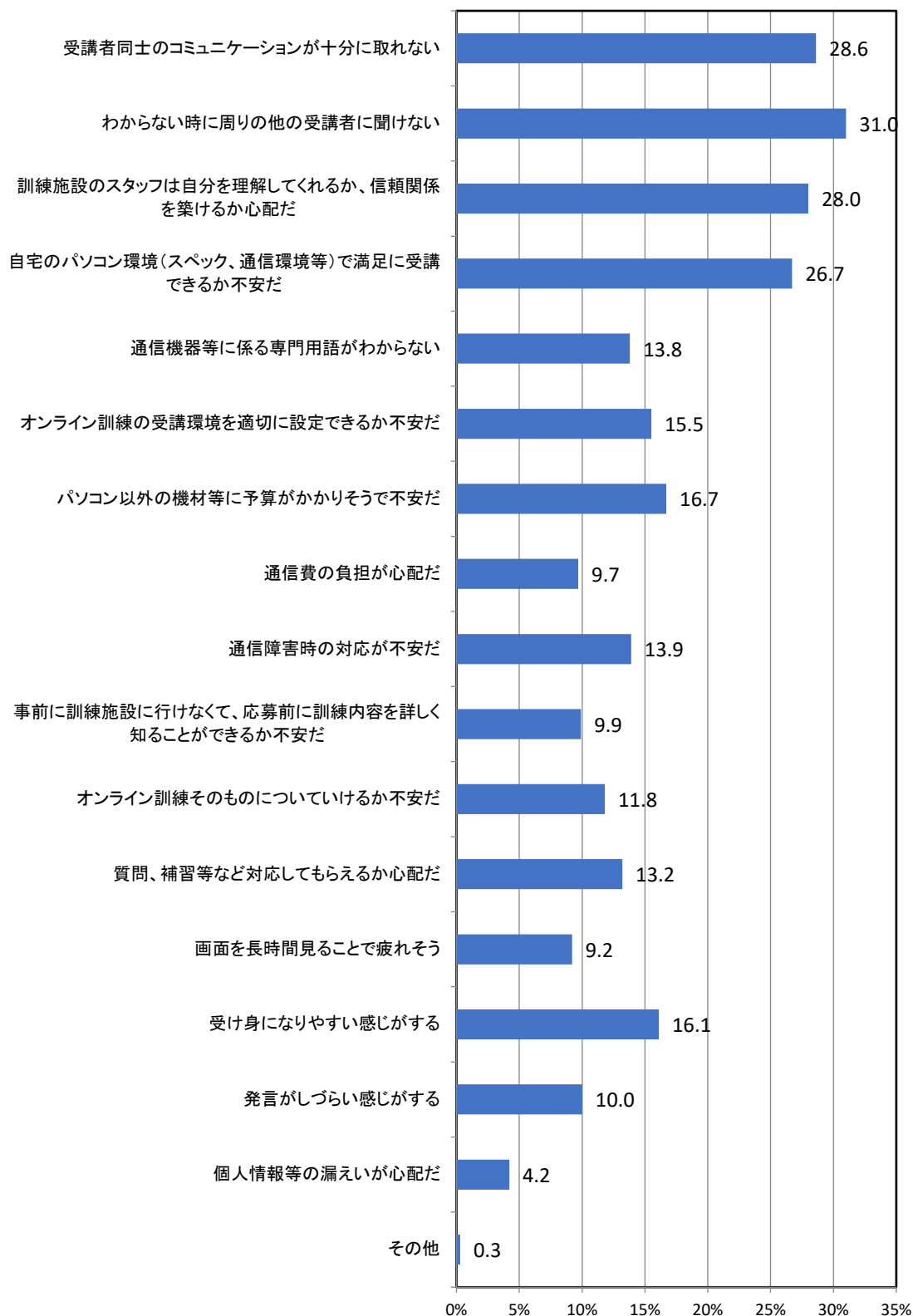


※その他は、交通費がかからない(2)、子供がいても大丈夫そう。

(12) オンライン訓練を対面式訓練と比較してのデメリット

図表 2-22 は、オンライン訓練を受講する場合、対面式訓練と比較してデメリットは何かを示している(複数選択)。「わからない時に周りの他の受講者に聞けない」が 31.0%、「受講者同士のコミュニケーションが十分に取れない」が 28.6%、「訓練施設のスタッフは自分を理解してくれるか、信頼関係を築けるか心配だ」が 28.0%と上位の順になっており、人とかかわりに対する不安を感じているようである。また、「自宅のパソコン環境で満足に受講できるか不安だ」が 26.7%と続いており、通信環境への不安も伺える。

図表2-22 オンライン訓練を対面式訓練と比較してのデメリット(複数選択)

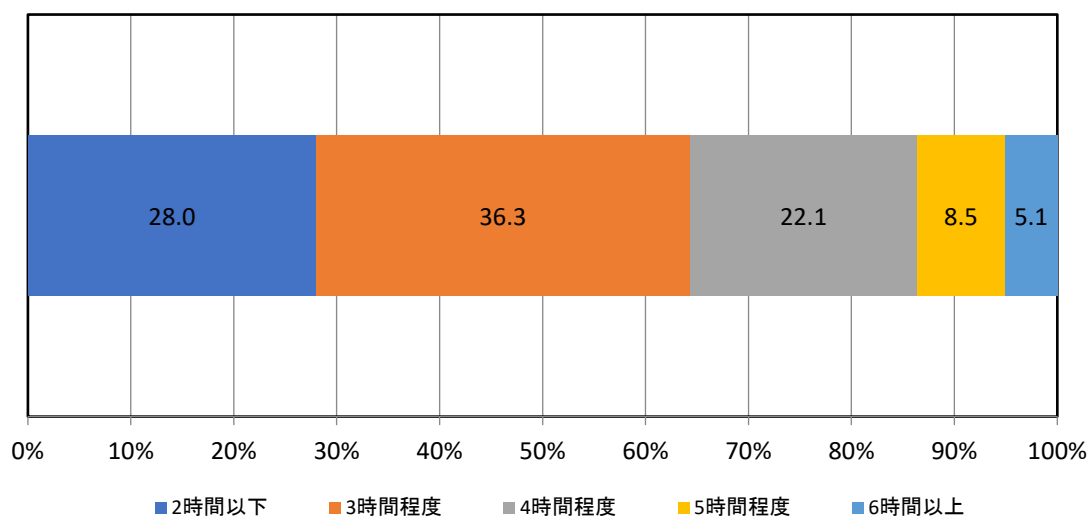


※その他は、要介護者がいる場合は難しい、ネット環境、特に不安はない。

(13) 訓練時間と訓練期間の希望

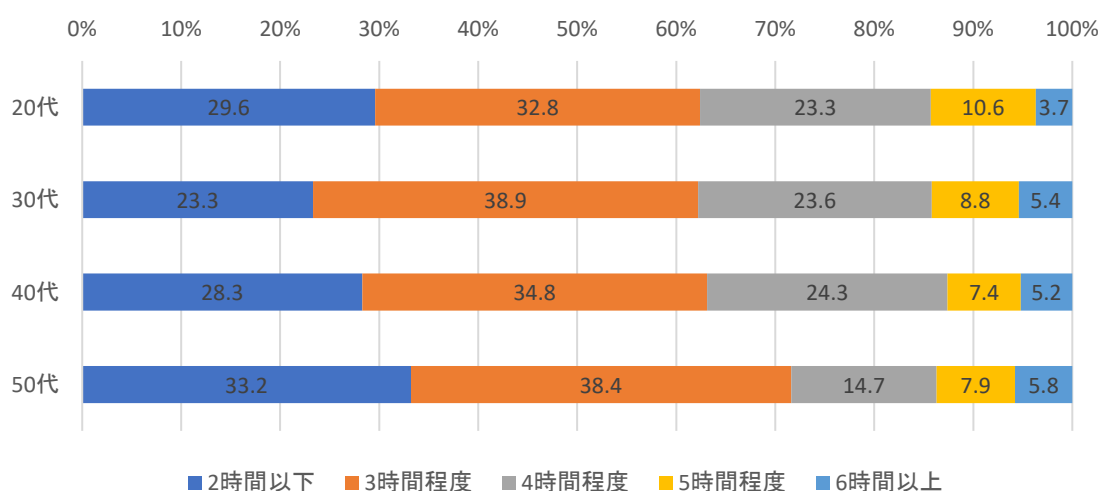
図表 2-23 は、オンライン訓練で 1 日当たりの訓練時間の希望を示している。「3 時間程度」が 36.3%で最も多く、次いで「2 時間以下」が 28.0%、「4 時間程度」が 22.1%という順になっており、4 時間程度より短い時間帯を希望する者が全体の 8 割以上を占めている。

図表 2-23 1 日当たりの訓練時間の希望 (1,000 人)



図表 2-24 は、図表 2-23 を年代別に示したものである。1 日当たりの訓練時間の希望は、20 代～40 代はほぼ同じで割合であるが、50 代が他の年代に比べて「2 時間以下」の割合が多く、「4 時間程度」の割合が少なく短時間の訓練を希望していることがわかる。

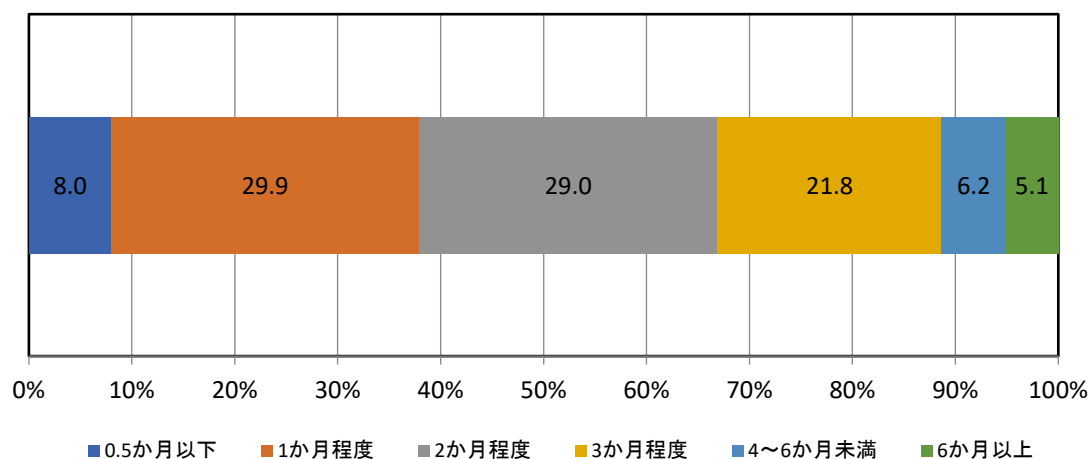
図表 2-24 年代別 1 日当たりの訓練時間の希望 (1,000 人)



※20 代(189 人)、30 代(296 人)、40 代(325 人)、50 代(190 人)

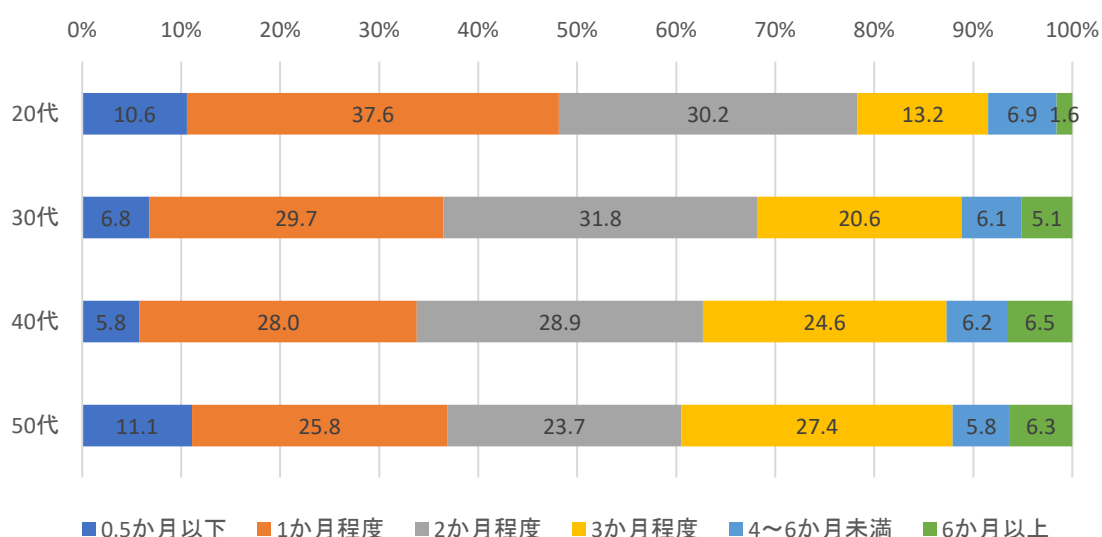
図表2-25は、訓練コースの訓練期間の希望を示している。「1か月程度」が29.9%、「2か月程度」が29.0%、「3か月程度」が21.8%という順であり、これらの期間で全体の80.7%を占めている。

図表2-25 訓練コースの訓練期間の希望 (1,000人)



図表2-26は、図表2-25を年代別に示したものである。訓練コースの訓練期間については、20代は「1か月程度」が、30代・40代は「2か月程度」が、50代は「3か月程度」の割合が多くなっており、年代が高くなるにつれ長期間の訓練を希望する傾向がある。

図表2-26 年代別訓練コースの訓練期間の希望 (1,000人)

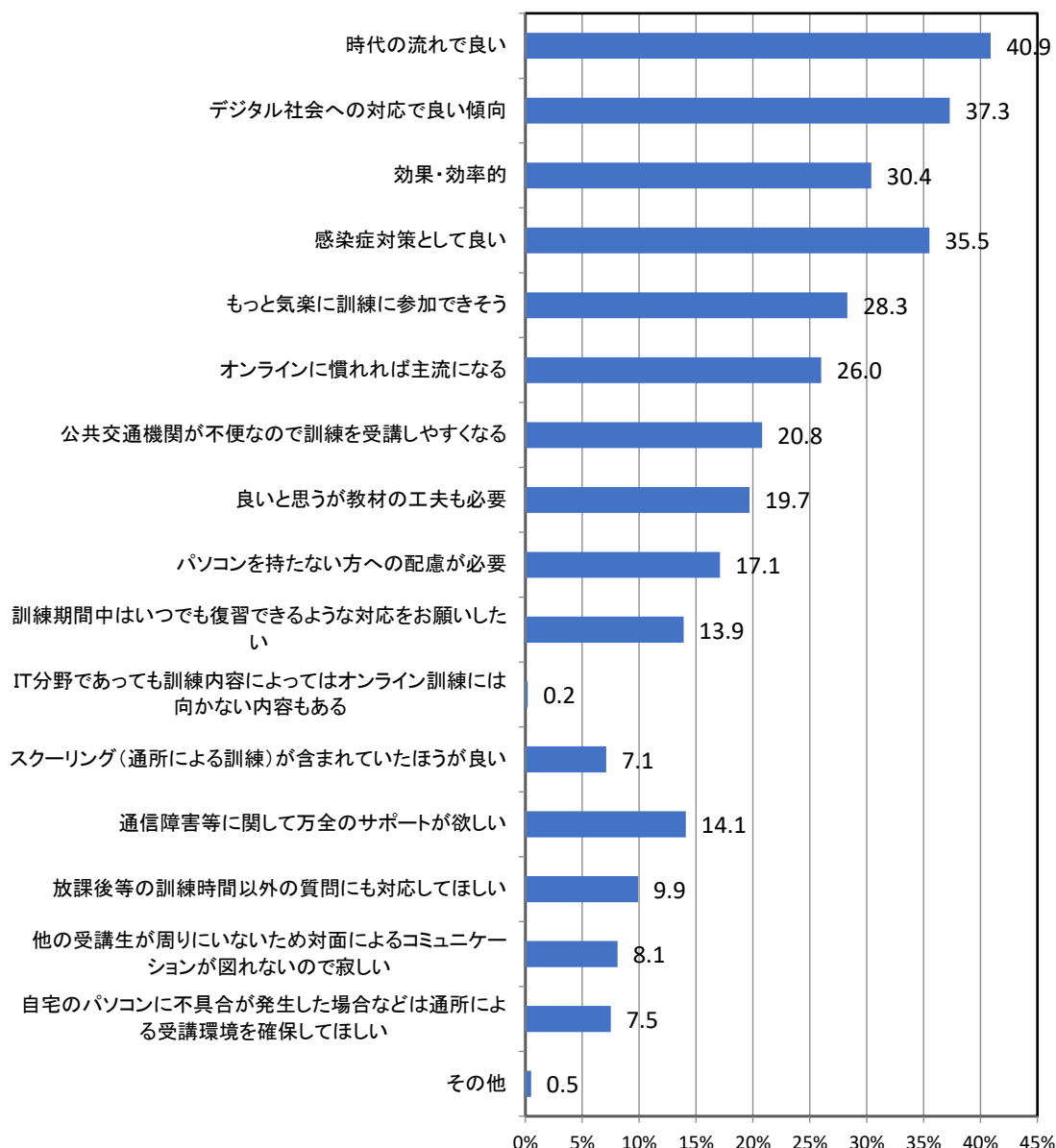


※20代(189人)、30代(296人)、40代(325人)、50代(190人)

(14) フルオンライン訓練をどのように感じるか

図表 2-27 は、受講者募集から訓練終了までを全てオンラインで行うフルオンライン訓練を実施する場合どのように感じるかを示したものである(複数選択)。「時代の流れで良い」が最も 40.9%と多く、次いで「デジタル社会への対応で良い傾向」が 37.3%、「感染対策として良い」が 35.5%、「効果・効率的」が 30.4%と続いている。

図表 2-27 フルオンライン訓練をどのように感じるか (複数選択)



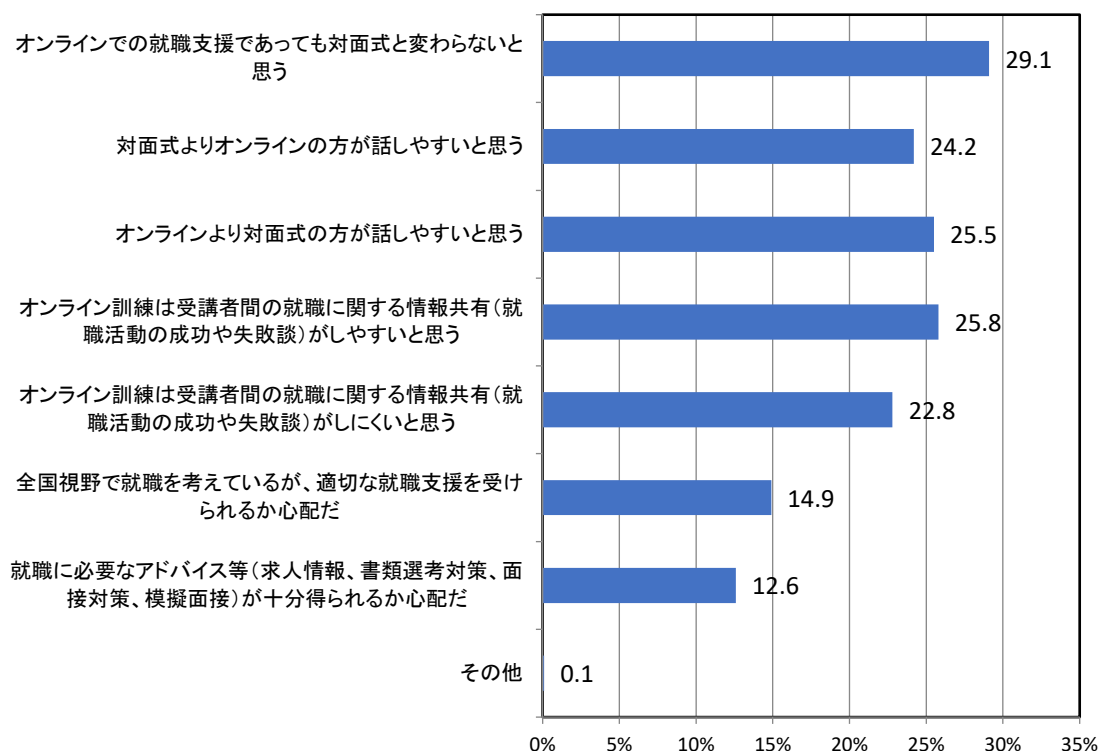
※その他は、講義は録画して見返せるように(2)、

他の人とのコミュニケーション不足が不安(2)、Wi-Fiがない、式典は不要。

(15) オンライン訓練の就職支援はどのように考えるか

図表2-28は、オンライン訓練の就職支援をどのように考えるかを示している(複数選択)。「オンラインでの就職支援であっても対面式と変わらないと思う」が29.1%と最も多く、次いで「対面式よりオンラインの方が話しやすいと思う」と「オンラインより対面式の方が話しやすいと思う」がそれぞれ24.2%と25.5%と続いている。

図表2-28 オンラインの就職支援はどのように考えるか (複数選択)



※その他は、自分が怠ける。

(16) オンライン訓練に関する要望(自由記述)

最後にオンライン訓練に関する要望(自由記述)を示す。多くの方から意見が寄せられたので、カテゴリー別に整理したものを示す。※()の数字は類似意見

【オンライン訓練に係る全般】

- ・対面式と同様な受講ができれば、災害時やコロナ禍では大変有効(4)
- ・ハローワークでのオンライン訓練講座を増やしてほしい(6)
- ・期待できる、手軽さ、便利、利用しやすい、効果が感じられる等(8)

【訓練実施方法】

<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回程度の対面式の授業を入れ、その時に相談が出来ればと思う(7) ・良い学び方ができるなら形式は問わない ・講義を録画して、いつでも見返して復習できるようにしてほしい(7) ・サポート体制を充実してほしい(6) ・訓練中の質問について、すぐ聞けるような対応、チャット機能、質問コーナー、個別質問会、個別指導、質問時間の確保、質問しやすいシステム、質問に対するレスポンスの良さなど(17) ・定期的に進捗を確認してほしい ・生徒が受け身にならないように配慮してほしい ・受講者同士でコミュニケーションが取れるような仕組みもあると良い(8) ・臨場感が伝わるような取り組みをしてほしい

【訓練内容に関連】

<ul style="list-style-type: none"> ・レベルが段々上がるようにしてほしい等(4)
<ul style="list-style-type: none"> ・訓練内容では、パワポ等の基礎知識、職業の資格、就職に結びつくもの、英語、様々な職種、興味がある内容等(8)
<ul style="list-style-type: none"> ・技術講習はオンラインでは物足りないのではないのか
<ul style="list-style-type: none"> ・就職先が必要としている内容のオンライン訓練を期待(2)

【訓練効果】

<ul style="list-style-type: none"> ・対面式程の効果が期待できるのか不安(6)
<ul style="list-style-type: none"> ・自分がきちんとついていけるか不安

【就職支援】

<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援のサポート体制がどういったものか説明が欲しい
<ul style="list-style-type: none"> ・面談のタイミングを細かく設けてほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・就職斡旋とセットで取り扱って欲しい

【通信機器等に関連】

<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、ルータ等通信機器の貸出等支援(8)
<ul style="list-style-type: none"> ・通信環境が少し不安、通信障害に関するサポートがあると助かる(10)

【その他】

<ul style="list-style-type: none"> ・受講はしたいが、もっと詳細な情報提供がほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・集中が切れないようにお互い気をつけたい(4)
<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでのやり取りをしたことが無いのでやり方がわからない(2)
<ul style="list-style-type: none"> ・どうしても無機質な感じが拭いきれない